



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎

MIYAZAKI

フードビジネス創出プロジェクト

(宮崎の食資源から新しいビジネスの創出)

宮崎県 農政水産部 農業流通ブランド課 6次産業化推進担当



日本の
ひなた
宮崎県

みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【背景】 宮崎県の食を生み出す豊かな自然について

○宮崎県は「日本のひなた」といわれ、全国トップクラスの平均気温、日照時間、快晴日数など**温暖な気候**の下、日向灘や九州山脈など豊かな自然環境に囲まれる中で、様々な**農林水産物や食文化**が育まれています。

【ユネスコエコパーク】綾 H24.7登録

【ユネスコエコパーク】祖母・傾・大崩 H29.6登録

【世界農業遺産】H27.12認定 高千穂郷・椎葉山地域

【日本ジオパーク】霧島 H22.9認定

【日本農業遺産】R3.2認定 日南市～餌肥林業とかつお一本釣り漁法～ 田野・清武地域～干し野菜と露地畑作の高度利用システム～

【日本遺産】H30.5認定 古代人のモニュメント ～台地に絵を描く南国宮崎の古墳景観～

世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域

Soba, Katamuki and Okue Biosphere Reserve

世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域

世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域



日本の
ひなた
宮崎県

みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【現状】 宮崎県の食資源「農業」の現状について

- 宮崎県の農業産出額は**3,505億円**（全国**6位**）で、全国有数の食料供給産地。
- 芋や米などを原料とする焼酎出荷額も**969億円**（全国**1位**）で本県の基幹産業。

★令和4年 農業産出額：3,505億円（全国6位）

野菜:633億円

きゅうり
全国**1位**



ピーマン
全国**2位**



マンゴー
全国**2位**



果樹:145億円



花き:80億円

スイートピー
全国**1位**



鶏:905億円

ブロイラー
全国**2位**



豚:520億円

豚
全国**2位**



肉用牛:826億円

肉用牛
全国**3位**



収穫量、出荷量
ともに**日本一!**

きんかん・日向夏(令和3年産)
栽培面積、収穫量ともに**日本一!**

全国和牛能力共進会
(和牛オリンピック)

★令和3年 焼酎出荷額:969億円（全国1位）

宮崎の本格焼酎（芋、米、麦、そば等）



本格焼酎出荷量
祝**10年連続日本一!**



おいしさ日本一!
4大会連続内閣総理大臣賞受賞!

みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【現状と課題】 宮崎県の農業算出額の推移について

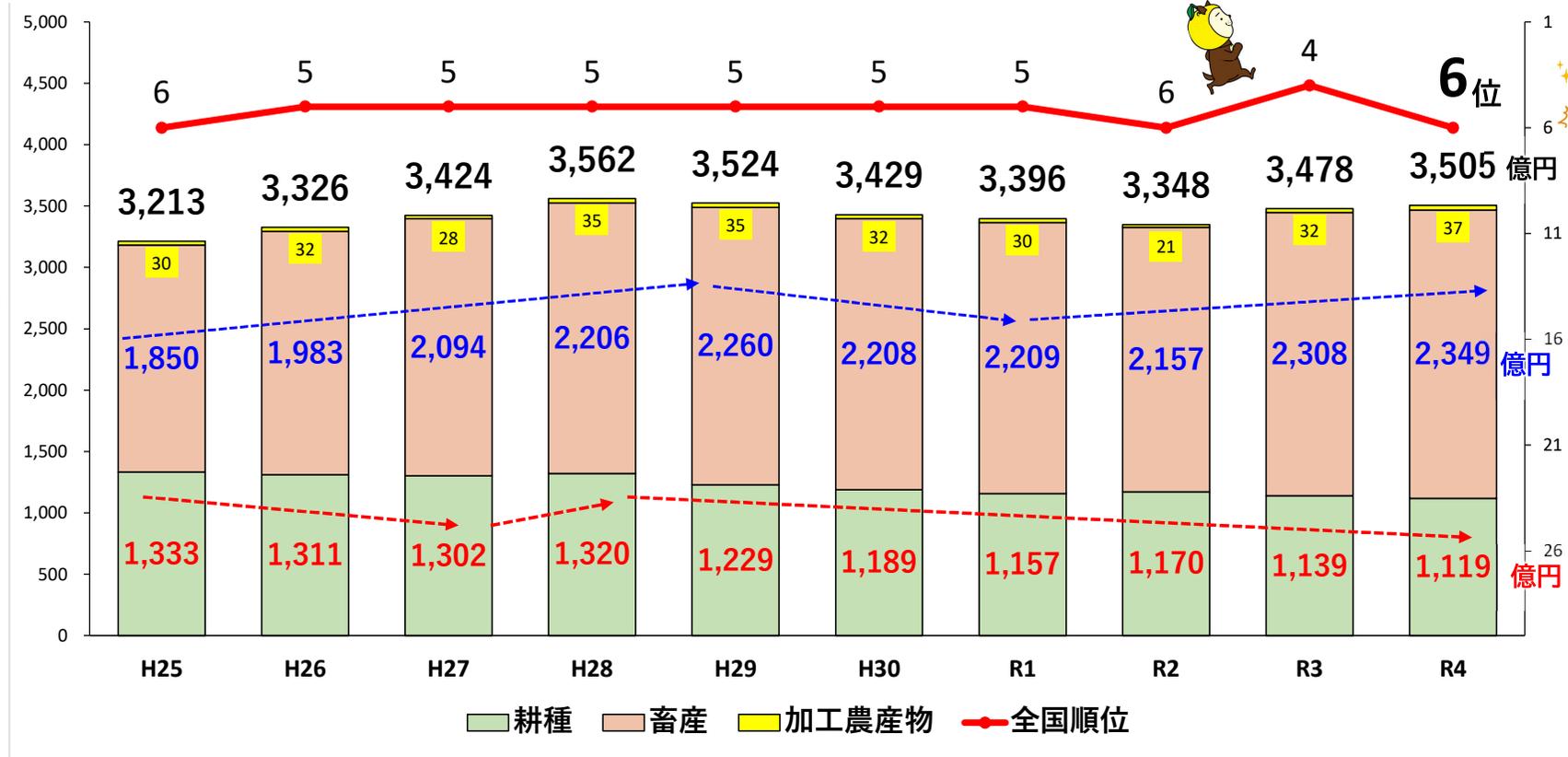
○宮崎県の令和4年度農業産出額は、3,505億円と増加傾向に転じたが順位は低下。

【課題】 畜産は増加傾向にあるが、野菜や果樹、米など耕種は年々減少傾向。

一方で、畜産・耕種共に資材等高騰によるコスト増を販売額に反映できず収益低下が懸念。

→このままでは農業を持続していくこと自体が困難に。

産出額
(億円)



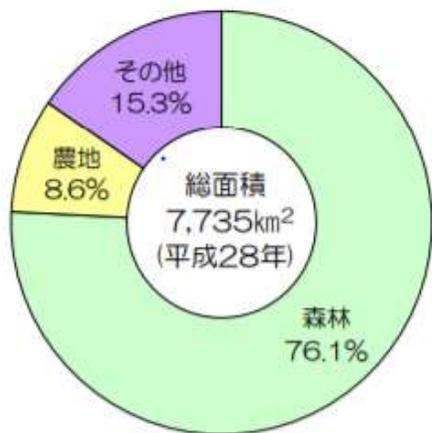


みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【現状と課題】 本県農業が抱える自然条件や社会的条件

●生産性の高い基盤確保が不十分

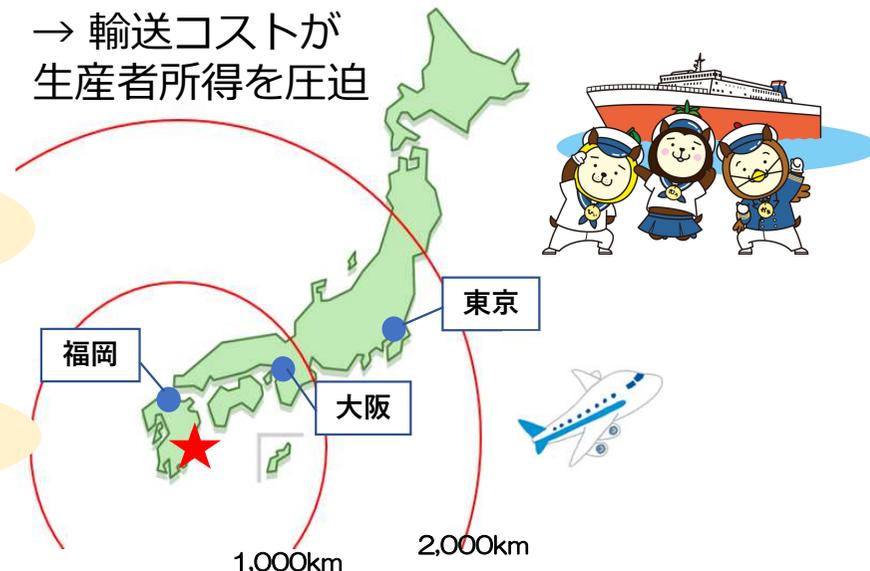
→ 県土の約3/4を森林が占め、農地は1割に満たない状況



資料:農林水産省調べ

●大消費地から遠隔地

→ 輸送コストが生産者所得を圧迫



生産・輸送
コストの増大

収益率の低下

更に
近年

- 世界情勢の変動、環境問題の激化、原料調達リスクの顕在化
- 農業も燃油・資材・肥料・工サ等の高騰で、益々経営を圧迫

このため

付加価値を高め、各種コストを吸収する仕組みが必要

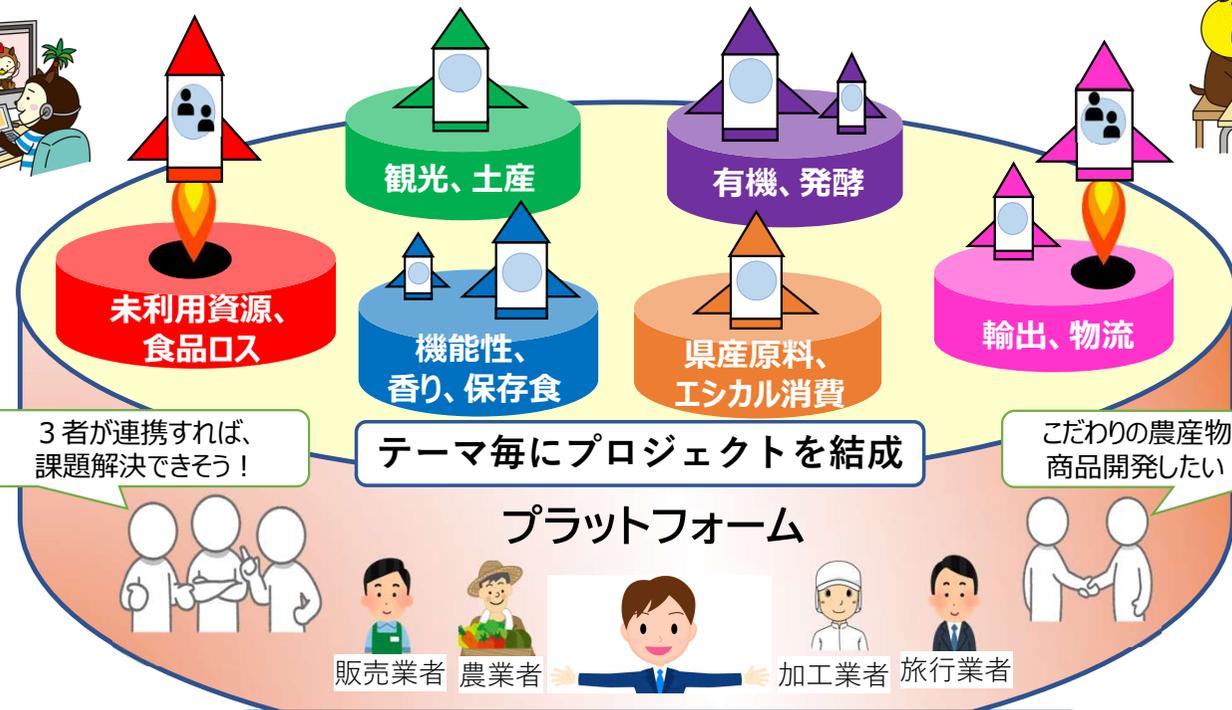
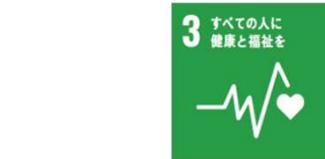




みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【事業目的】多様な業種の力を結集するプラットフォームの構築

- 地域が抱える様々な課題を解決し、**農林水産業**の活性化を図るため、県内外の**多様な業種が交流し、連携を促すプラットフォーム**を構築。
- 県産原料や機能性など**テーマ毎にプロジェクト**を結成し、様々な業種の力を結集させることで、**新たなフードビジネス創出**にチャレンジ！！



3者が連携すれば、課題解決できそう！

テーマ毎にプロジェクトを結成

こだわりの農産物で商品開発したい！

多様な業種の知見・経験・技術・アイデアを結集
(情報共有・学習・マッチング等の交流の場)





日本の
ひなた
宮崎県

みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【事業内容】プラットフォームから産み出される新規プロジェクト

- プラットフォームでは、年間を通じて、研修会や分科会、勉強会を企画。
- 多様な業種・関係者の**マッチング機会の提供**、**プロジェクト活動の支援**。

プラットフォーム形成

アイデア出し

ビジネス化

県内外の多様な農や食の関係者(276者)
が参画 (令和6年9月末現在)



研修会・分科会の開催
(地域の課題解決に向け、ワーク
ショップを通じてプロジェクト発足)



知識
経験・技術
アイデア

宮崎の食資源を活用した
新たな商品やサービスの開発



ワンストップ
相談窓口

●プラットフォーム事務局:みやざきフードビジネス相談ステーション
(研修会やワークショップ開催、コーディネーターによる支援、商品開発・マッチング・販路開拓・食品表示等)



日本の
ひなた
宮崎県

みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【得られる成果等】

皆様の寄附金をプラットフォームの運営、各プロジェクト活動の支援に活用させていただくことで、宮崎県内で次々と**新たなフードビジネス**が生まれ、**地方創生**や**地域活性化**に繋がっていきます。





みやざきフードビジネス創出プロジェクト

【寄附企業様のメリット・本県と企業との連携】

【メリット①】

寄附額の最大約9割の法人関係税の軽減効果を活用しながら、**社会貢献や企業PRなどの事業展開**に繋げることができます。



【メリット②】

寄附企業様を **宮崎県ホームページや県広報誌等**でご紹介



【メリット③】

県知事からの感謝状の贈呈

※お越しいただいた際には、知事室で直接、感謝状をお渡しいたします。プレスリリース等も対応可。



【メリット④】

さらに本県 **プラットフォームへ自ら参画**されると、
県内の食や農に関わる多様な事業者(276者:R6.9月末現在)
と交流でき、**新たなビジネスマッチングの創出**も期待できます。



ぜひ、**ご寄附で応援並びに本県の活動に参加**されませんか。

